

電源回路テーマに 筆師3人で共同執筆

石川さんは単著での出版も

有明工業高等専門学校電子情報工学科准教授の石川洋平さん(36)と電気工学科講師の清水暁生さん(31)は恩師である佐賀大学大学院工学系研究科准教授の深井澄夫さん(59)と共著で「現場で役立つ電源回路の基本と仕組み」を出版。「師弟で本を出せたことが何よりうれしい」と石川さんら。石川さんは単著で「これだけー電子回路」も刊行した。

石川さんと清水さんは同大学院時代、深井さんの研究室で一緒に学んだ。現在、石川さんと清水さんは共に有明高専に勤め、深井さんは週に一回、同高専専

有明新報

2015年4月13日(月)
(3)

路」をテーマに、清水さんが筆頭著者として参考書を制作した。

初めて電源回路を学ぶ人にも分かりやすいように、電源回路を学ぶ上での基礎となる電気回路や電子回路から、基本を理解するためのソボ、電源回路制作までの実際を網羅した。清水さんにとっては初の著書で、「電子回路を知らない人にも分かりやすいよう、かみ砕いて書くのが難しかったですね」と振り返る。

また石川さんは単著として二作目となる「これだけー電子回路」も刊行し

た。平成二十五年七月に「よくわかる最新電子回路の基本としくみ」を出版しているが、今回はさらに基礎的な入門書。小中学校で学ぶ理科の知識をベースに、電子回路を学ぶというコンセプトで執筆した。「気楽に読んでもらえる本ですが、初めの一步としては十分すぎる内容を厳選したつもり」と話している。

「現場で役立つ電源回路の基本と仕組み」「これだけー電子回路」はいずれも秀和システムから刊行され、価格は千七百円(税別)と千四百円(同)。紀伊国屋

書店などの大型書店で販売され、ネット注文もでき

(河野 美緒)



著作を手にする石川さん、深井さん、清水さん(左から)